野洲市児童発達支援センター「にこにこ教室」　　作成日：令和7年1月1日

支援プログラム

事業理念	就学前の心身の発達に障がいのある児童又はその疑いのある児童及びその保護者に対して、児童福祉法及びその他関係法令に基づき、療育の場を通して児童の成長を促すとともに、保護者の育児支援をします。		
支援方針	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練などを通して児童の成長を促します。 また、発達上の課題について保護者とともに考え、相談・助言をすることで育児を支援します。		
開所日時	月曜日から金曜日：午前9時～午後5時	送迎実施の有無	無

支援内容（5領域）			
プログラム	午前（主に1歳児～3歳児）9:15～11:15	プログラム	午後（主に4歳児・5歳児）14:15～15:45
おはよう 荷物片づけ	荷物を自分のロッカーに片付け、シール帳にシールを貼ります。 健康・生活/人間関係・社会性	こんにちは 荷物片づけ	荷物を自分のロッカーに片付け、シール帳にシールを貼ります。 健康・生活/人間関係・社会性
運動遊び	『うんどうのへや』の大型遊具を使って、全身を使って遊びます。遊具の共有や貸し借りなどで、コミュニケーションの機会を作ります。 運動・感覚/言語・コミュニケーション	ワーク課題	個人に合わせた指先の動きや認知機能を高める、机上での課題を設定し取り組みます。 運動・感覚/認知・行動
親子 ふれあい遊び	親子で一緒に音楽に合わせて体操をしたり、ふれあい遊びをしたりします。 運動・感覚/人間関係・社会性	運動遊び	『うんどうのへや』の大型遊具を使って、全身を使って遊びます。遊具の共有や貸し借りなどで、コミュニケーションの機会を作ります。 運動・感覚/言語・コミュニケーション
トイレ/手洗い	衣服の着脱や排せつ習慣の定着をはかります。 健康・生活	はじまりのつどい	みんなでそろって絵本やペープサートを楽しみます 認知・行動/人間関係・社会性
おやつ	自分の荷物からおやつ箱を用意したり、好きなおやつを選んだりします。 健康・生活/言語・コミュニケーション	トイレ/手洗い	健康・生活
		おやつ	自分の荷物からおやつ箱を用意したり、好きなおやつを選んだりします。 言語・コミュニケーション/人間関係・社会性
グループ遊び	それぞれのグループの課題に合わせた設定遊びを行います。 （感触遊び、ごっこ遊び、散歩、クッキング等） 運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性	グループ遊び	それぞれのグループの課題に合わせた設定遊びを行います。 （感触遊び、ルールのある遊び、買い物、クッキング等） 運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性
帰りのつどい	いすに座って絵本やペープサートを見たり、簡単な手遊びをします。 認知・行動	帰りのつどい	絵本やペープサートを見たり、簡単な手遊びをします。 認知・行動
帰りの用意 さようなら	リュックに荷物を入れて、帰りの支度をします。 健康・生活	帰りの用意 さようなら	リュックに荷物を入れて、帰りの支度をします。 健康・生活
		当番活動	当番を決めてそれぞれの役割に取り組みます。 （名前よび、おやつ、シール帳返し、帰りのあいさつ等） 言語・コミュニケーション/人間関係・社会性

家族支援	地域支援・地域連携
・保護者グループで関わり方のポイントや福祉の制度についての情報を提供します。また、それぞれの悩みや経験を共有できるようにします。 ・育児に役立てていくことを目的とした、保護者研修会を行います。	・保健センターと連携し、乳幼児期からの丁寧な支援を行います。 ・医療機関への紹介や他の福祉事業所と協力し、連携をしながら支援を行います。
移行支援	**職員の質の向上**
・就園（就学）先と情報共有や、見学などの調整を行います。 ・園への訪問、または園からの見学受け入れを通して、支援方法の共有を行い、にこにこ教室および園での支援につなげます（併行通園児）。	・作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、心理士などの専門職からの指導助言を受けます。 ・滋賀県が行う療育研修会などに職員が参加して、スキルアップに努めます。
主な行事等	**そのほかの事業**
・開講式　・家族のつどい　・保護者研修会　・閉講式	・発達相談　・医療相談　・歯科指導